

ユリノキ 風の便り 81

2025 (令和7) /7/1.
八千代・ゆりのき台 辻 秀幸

タコはむかし火星人だった

マダコ 軟体動物・頭足綱・八腕形上目・タコ目 (八腕目)・マダコ亜目・マダコ科・マダコ亜科・マダコ亜属



原産: Windows8・ピクチャ・2025-02-10.
採取: 2025/2/10. 八千代・ゆりのき台3.
[KASUMI FOOD SQUARE ゆりのき台店]
[真蛸 刺身用] 蒸し蛸 (真蛸) 刺身用
原材料名: 真だこ (モーリタニア)
加工者: カスミ FS ゆりのき台店 ¥498.税別
撮影: 2025/2/10.

英米では octopus とか devilfish というが、どちらもマイナスイメージだ。日本人は悪魔というよりは妖怪イメージで見る。

奇妙な生き物だ。とはいっても、タコだけが奇妙なわけではない。ミミズだってカラスだってテントウムシだって不思議な生きものだ。感情として、イイねなのか、ダメなのかということだろう。

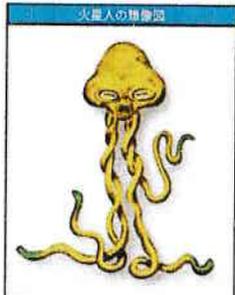
知的にも身体能力的にも大変優れているとされる。



全身写真は Web
東京都島しょ農水産総合センター から

全長 60cm 分布 本州中部より南の各地で最も普通のタコ。
潮間帯から水深 50m くらいまでの岩礁。砂やどろのある底にもすむ 食用 たこつぼでとる
[旺文社学習図鑑携帯版 貝と水の生物] 旺文社

octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian



タコ火星人説

鳥山明先生作品のバクリを含みます

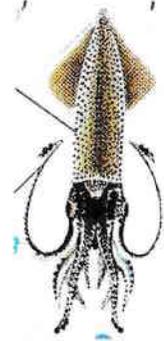
むかしむかしヒマリという惑星に大変進んだ生き物がいました。水が多い星でしたので、水の中で文化を発達させました。しかしヒマリの星としての活動は衰え、冷え、地磁気は消え、大気は失われました。ヒマリ人は、水が多く残されていた地下で命をつなぎました。そして多くの時間が過ぎて、隣のチマリと呼んでいた惑星が冷え固まり安定し、生きものが現れ、水が豊富に蓄えられたことを知りました。ヒマリ人は一致団結してチマリへの移住を決断、決行しました。

隣へ行くだけとはいえ、いかに進んだ文明でも過酷な作業でした。宙飛ぶ船はあるいは発射直後に爆発し、あるいはほとんどもない方向に向かい、チマリに到着出来たのはごくわずかでした。予測と違う障害もありましたが、むりやり適応して水の中で子孫を残すことに成功しました。
(ヒマリ人の図: ウェブ・www.kahaku.go.jp から) 次ページ☆へ

ホタルイカ 軟体動物・頭足綱・十腕形上目・開眼目・ホタルイカモドキ科・ホタルイカ属



原産: Windows8・ピクチャ・2025-02-14.
採取: 2025/2/14. 八千代・ゆりのき台3. [maruetsu 八千代中央駅前店]
[生食用 ポイルイカ] 90g ¥380.税別
名称: 釜ゆでほたるいか (からし調味液付)
原材料名: ポイルほたるいか (ほたるいか (富山湾産))
加工者: マルエツフレッシュフーズ (三郷市)
撮影: 2025/2/14.



可哀そうで食べない! と下の兄は言った。実際に食べなかったのか、ほんの軽口だったのかは覚えていない。私が小学上級の頃だったと思う。私は平気で食べた。目玉が歯に当たる。この目で周囲を観察しているらしいが、あえなく団体で捕獲されてしまう。

生食注意 寄生虫が寄生していて、なにやら怖い症状を起こすので、踊り食いなど生を口にするのはやめておこう。

全長 6cm 分布 本州中部より北の沿岸。ふだんは水深 200~600m くらいにいるが、富山湾では産卵期 (初夏) になると大群になる 食用
◎ 発光するので有名
[旺文社学習図鑑携帯版 魚] 旺文社 1977

octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian octopusdevilfishMarsMartian

☆左ページ下から それからたくさん長い時間が過ぎました。チマリに高知能生物が繁栄しはじめまして、自分たちを人、住む星を地球と名付けました。スクャパレリという伊国の人が隣の星、火星を観察したところ黒い部分を結ぶ線を見つけました。伊語でカナリ (水路) と名付けて発表したところ、英語のキャナル (運河) と訳されて広まり、地球人は大騒ぎ。運河を築いた進んだ文化を持つ火星人が居るに違いない。実は、線に見えたのはトオメガネの精度が悪いせいなので、その頃火星つまりヒマリは隕石の直撃やら太陽光にあぶられるやらで、運河は跡形もなくなっていました。ヒマリ人もずっと前にチマリに移住した後でした。地球暦 1877 年のことでした。

異なる環境の地球でしぶとく生き延びたヒマリ人の末裔は、海の中から人を観察しています。知能の仕組みとか意志疎通の方法とかが異なりますので、人と対話することは不可能です。地球があつた頃の火星の環境に近づき地球人が滅びたあと、ヒマリ人たちが進化を再活性化し、地球が消滅するのを見届けるでしょう。

今、ヒマリ人を日本人は蛸、仏人はプルプと呼びます。

